



2019年度 プロジェクト

**「海にいこーよ ～親子の海デビュー応援！～ (海と日本2019)」
実施報告書**

- 事業概要
- 全体総括
- 事業全体像
- 事業施策詳細
 - 海にいこーよWEBリニューアル施策
 - 海デビュー応援施策

事業概要

- 事業名称 「海にいこーよ ～親子の海デビュー応援！～ (海と日本2019)」
- 主催 一般社団法人次世代価値コンソーシアム
日本財団「海と日本PROJECT」
- 事業目的 本事業は、海へのお出かけ機会を創出することを目的としております。親子の海デビューをテーマとし、保護者が子供を海に連れて行かない理由を徹底的につぶし、海デビューを促進することを目標に、様々な施策を展開します。
- 内容
- 海にいこーよWEBリニューアル施策
 - ・ビーチ情報の拡充・検索機能強化
 - ・体験イベント情報掲載数の強化
 - ・その他コンテンツ拡充
 - 海デビュー応援施策
 - ・海デビュー応援ページの制作・海デビュー応援記事の掲載
 - ・海デビュー応援マニュアルの制作・配布
 - ・小学生向けこども記者イベントの実施

全体総括

『海にいこーよプロジェクト』は、海へのおでかけ機会を創出することを事業目的としています。

2019年度は、海にいこーよWEBをより多くの人に見てもらうための強化を目的としたリニューアルに加え、子どもたちの『海デビュー』をテーマに保護者が子どもを海に連れていけない理由をつぶすための様々な取り組み実施いたしました。

□海にいこーよWEBリニューアル施策について

より多くの親子が海へおでかけするきっかけを創出できるように以下の内容を基軸とした大幅なWEBサイトリニューアルを実施いたしました。結果、定量成果としては2019年5月から10月までの期間において約349万PV(昨対1722%)を達成し、多くの親子に向けて海との接点を創出することができたと考えております。

▶ ビーチ情報の拡充・検索機能強化

海のお出かけスポット情報としてライフセーバーがいる海水浴場や、海の家がある海水浴場などの情報の拡充と、これを絞り込んで検索可能となる機能強化を行いました。海を安全に楽しむことができる場所を探しやすくすることで、海へのおでかけを促進できたと考えています。

▶ 体験イベント情報掲載数の強化

総掲載イベント数は833件で昨対251%と大きく成長し、多くの親子に向けて海に関するイベント参加を促進することができました。

▶ その他コンテンツ拡充

子どもたちが楽しみながら海の環境やゴミ問題、安全について学ぶことができる海クイズを制作。延べ6,548人に実施頂き、海に関心を高める一助になったと考えています。また、後記の海デビューに係る記事コンテンツも充実させることで、WEBサイトに来る導線およびWEBサイト内の回遊を高めることができました。

□海デビュー応援施策について

「海デビュー」をテーマに、保護者が子供を海に連れて行かない理由をつぶすことを目標に、以下の取り組みを実施しました。

【WEB】

▶ 海デビュー応援ページの制作・海デビュー応援記事の掲載

海が子どもに与える好影響、親子の海デビューの本音、はじめてシリーズなど全14本の海デビューを応援する内容の記事を制作しました。次年度以降の活用も見据え、本記事の内容は普遍的なものとなるよう意識しました。【電車で行ける駅近の海水浴場10選】(33,910PV)、「関東近郊の最新&おすすめ海上アスレチック6選」(21,431PV)、「海沿いグランピング7選」(10,211PV)などをテーマとした記事が特に多く読まれました。

【その他】

▶ 海デビュー応援マニュアルの制作・配布

「海デビュー応援マニュアル」を制作し、33の自治体やライフセーバー協会等と連携し、計約12,000部の配布を達成いたしました。多くの親子の海デビューのきっかけを創出できたのではないかと考えております。制作にあたり、以下の取り組みを実施し、リアルなデータを収集しました。

- ①教育専門家(尾木直樹先生)へのインタビュー
- ②子連れでの海のおでかけをテーマとした座談会
- ③約945人の親に向けた海のおでかけについてのアンケート
- ④未就学児向けの親子の海デビューイベント

上記のイベントでは、子どもたちが海を怖がらず楽しんでいる様子が見られるとともに、「安全に子供と海を楽しむことができるとわかった」などポジティブな保護者の声を聞くことができました。

▶ 小学生向けこども記者イベントの実施

多角的な目線で海を捉えられるよう、「海」を軸としながら、交通や地域を掛け合わせた複合的なプログラムを構築しました。新聞記者による取材の心得のレクチャー、海と関わりの深い伊豆急行への乗車、ネイチャーガイドとの磯遊び、ライフセーバーとの海水浴などを実施。イベント当日は、こども記者として様々な角度から意欲的に質問する子供たちの様子が見られました。アウトプットとして子供たちが作成した新聞は、朝日小学生新聞(発行部数:約10万5千部)、伊豆急行車内ポスター、伊豆高原・下田駅での掲示、いこーよWEBでの掲載など、様々な形で波及最大化を図りました。子供たちそれぞれの視点で感じた海の魅力を、多くの親子へ届けることができたと考えております。

□今後に向けた展開について

海デビューを徹底的に促すためには「海デビュー応援」施策を継続的に展開する必要があると考えております。それに加え、海へのおでかけを定着させるための次ステップの取り組みとして、「海リピート」を目指した施策を展開したいと考えております。具体的には、WEBで「海遊び」スポットの紹介や特集記事展開を行うほか、「海遊び」をテーマとした複合的な展開を実施するなど、「海遊び」のムーブメント化を図ることで「海リピート」を具現化していきたいと考えております。

事業全体像

事業目的：海へのおでかけ機会の創出

海にいきよ
WEBリニュー
アル施策

W
E
B

ビーチ情報充実・
検索機能強化

体験イベント
掲載数の強化

その他のコンテンツ充実
海クイズ

レポート記事、その他波及を
目的としたコンテンツの連動等

海デビュー応援ページ &
海デビュー応援記事
(海が子どもに与える好影響、
はじめての海ガイドシリーズ、
海のおすすめスポット等)

相関関係

海
デ
ビ
ュ
ー
応
援
施
策

そ
の
他

海デビュー応援マニュアル制作に関わる取組み

教育専門家へのインタビュー

定量調査(保護者へのアンケート)

定性調査(保護者の座談会)

未就学時向け
親子の海デビューイベント

海デビュー応援マニュアル制作・配布

イベントを通じて
様々な視点で海を知るための取組み

こども記者イベント

新聞制作・露出

事業施策詳細
- 海にこーよWEBリニューアル施策 -

企画設計の要旨等

■コンセプト

より多くの親子がWEBサイトを訪れ、海への関心を高めてもらうためのWEBサイト強化を図る。

■リニューアル概要

- サイトデザインの刷新
- ビーチ情報の充実と検索機能強化
- イベント情報掲載強化
- コンテンツの充実
 - 海クイズ
 - 海デビュー特設ページ
 - 海デビュー応援記事

本施策総括

海にいこーよWEBリニューアル施策の結果として、海にいこーよの総閲覧回数約349万(昨対1722%)を達成することができ、前年度を大きく上回る海との接点を創出することができました。

今年度、833件(昨対252%)のイベントを海にいこーよへ連携することで、親子が海に触れるきっかけ作りに大きく貢献しました。機能面では、ビーチのスポット情報に、ライフセーバーや海の家の有無に係る情報を新たに付加し、さらに検索できるように機能追加を実施し、結果、ビーチの紹介ページのPVは約79万を達成し、より多くの親子が海に行くきっかけを創ることができました。

海にいこーよの新たな価値提供として、海へのおでかけ先の訴求だけでなく、子ども達が楽しみながら海や海の生物、海ゴミ、安全について学ぶことができる海クイズのコンテンツを制作しました。延べ6,548人に実施いただいたことから、大人だけでなく、子ども達にも閲覧してもらえるWEBサイトとしての価値を得ることができたと考えております。

また、海デビュー特設ページを新たに開設し、テーマである「海デビュー」の最大化を図りました。

(海デビュー施策の詳細については後記「海デビュー応援施策 WEBページ」参照)

次年度以降も親子と海の体験との接点をより多く作る事ができますよう邁進して参ります。

WEBページ

「海にいこーよ」WEBでは、海のお出かけスポット・体験イベントを紹介するとともに、海クイズコンテンツ、海デビュー応援コンテンツ・機能(※「事業詳細 -海デビュー応援施策-の項にて記載)等を具備しております。

■ トップページ



海にいこーよURL
https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp

海水浴場や水族館など、スポットを絞った検索、また、地域を選択することで直感的に海のスポットを検索できる機能を制作。

はじめての●●ガイド記事、おすすめスポットまとめや、尾木直樹先生にインタビューをした記事、海の意識調査記事などを掲載。



イベントの体験動画を掲載。

■ 海イベントページ

海の体験イベントをまとめたページとなります。



海イベントページURL
https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp/events

人気の高いイベントをランキング形式で掲載。



イベント詳細ページへリンク。

■掲載イベント

2019年度は、海にいこーよへ833件(昨対251%)のイベント情報を掲載しました。子どもたちの夏休みの自由研究につながる体験イベントが全体的にPVも高くなっていました。また、観艦式や、花火大会などの大規模なイベントも人気上位に位置しております。

※PV上位のイベント一覧(1位～30位：降順)

NO	イベントタイトル	イベント開始日	イベント終了日	URL
1	作る！体験する！夏休みの宿題も応援！『2019年夏休みこども教室』	7月27日	8月23日	https://iko-yo.net/events/170043
2	【人数限定】親子で魚釣り&寿司作り体験教室！	8月24日	9月29日	https://iko-yo.net/events/169507
3	貞光ぎおん夏まつり花火大会	7月14日	7月14日	https://iko-yo.net/events/173149
4	令和元年度観艦式	10月5日	10月14日	https://iko-yo.net/events/187971
5	ブクブク マリンリウム IN 京セラドーム大阪スカイホール	7月6日	9月1日	https://iko-yo.net/events/183248
6	夏休み！さんふらわあクルーズ	8月3日	8月3日	https://iko-yo.net/events/175096
7	「みなとオアシス岸和田」登録記念 岸和田港まつり 花火大会	7月27日	7月27日	https://iko-yo.net/events/175556
8	【小学生向け】本物の博士といっしょに研究しよう！海のにきもの編	7月25日	8月23日	https://iko-yo.net/events/177741
9	海のミュージアム「磯の生物観察会」	7月15日	7月15日	https://iko-yo.net/events/181037
10	7月／【夏休み自由研究】豊洲市場親子社会見学ツアー（水産卸・仲卸編）	7月20日	7月20日	https://iko-yo.net/events/172123
11	ふかぬまビーチフェスタ2019	7月27日	7月30日	https://iko-yo.net/events/183076
12	磯の生物観察会（磯遊び）	7月20日	9月1日	https://iko-yo.net/events/176811
13	【横浜たまプラーザ】夏休みこども自由研究教室	7月21日	7月21日	https://iko-yo.net/events/172975
14	夏休み自由研究 魚のからだの不思議を学ぶ 透明骨格標本7/20	7月20日	7月20日	https://iko-yo.net/events/170089
15	【川崎】夏休みサマーワークショップフェア	7月20日	7月20日	https://iko-yo.net/events/172576
16	【夏休み・2泊3日】海の世界を探検！葉山で海遊びキャンプ	7月24日	7月24日	https://iko-yo.net/events/169517
17	箱作海水浴場潮干狩り	4月20日	6月2日	https://iko-yo.net/events/157863
18	【7/31(水)1日限り！】海と陸からの見学会（〔限定〕親子で参加♪）	7月31日	7月31日	https://iko-yo.net/events/171332
19	オールナイト（お泊り）水族館	7月13日	8月31日	https://iko-yo.net/events/149337
20	みやざきの海を満喫！一人乗りボート「レガッタ」体験！	8月3日	8月3日	https://iko-yo.net/events/183374
21	夏休み自由研究お助け隊！～ウミガメと吹上浜のなかまたち～【三日間】	8月11日	8月11日	https://iko-yo.net/events/182553
22	東京タワー×水陸両用バスKABA3 展望教室&KABA3ツアー	6月30日	6月30日	https://iko-yo.net/events/169464
23	【参加無料】遊びながら学ぶ「発見！たんトピア島」	7月13日	7月14日	https://iko-yo.net/events/171802
24	「宇宙飛行士」のお仕事体験全2回！夏の自由研究2回目：午前特別プラン	7月14日	7月14日	https://iko-yo.net/events/168081
25	自由研究で海苔を調べよう	8月11日	8月11日	https://iko-yo.net/events/174564
26	海辺のワークショップ☆夏休み陶芸.工作体験<<宿題対策に！>>	8月3日	8月5日	https://iko-yo.net/events/183371
27	ハートフルサマーフェスティバル2019	8月25日	8月25日	https://iko-yo.net/events/191453
28	海の日記念 東京海さんぽ	7月15日	7月15日	https://iko-yo.net/events/170823
29	海岸で砂あそび	7月13日	8月30日	https://iko-yo.net/events/180556
30	チリメンモンスター探しとミニ水族館作り【年長～大人】	7月28日	7月28日	https://iko-yo.net/events/175664

■海クイズページ

子どもたちが楽しみながら「海の環境・生態」「海ゴミ」「海の安全」について学ぶことができるコンテンツとなります。

海クイズページURL
https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp/quiz



クイズは、全部で10問設置。



正解数に応じてレベルを設定



■ WEBサイトの定量指標等

■ WEBサイト PV等

こちらは、2019年5月22日～2019年10月31日までのデータとなります。

海にいこーよ総閲覧回数
PV349万
(昨対1722%)

海クイズ参加者
延べ6548人

海にいこーよ総閲覧回数と
イベント件数

単位:千 件

6月 7月 8月 9月 10月 11月

■ 水族館 ■ 海水浴場 ■ イベント
■ WEB ■ 記事 ■ イベント件数

海水浴場スポットの総閲覧回数
(※夏休み期間中)
79万回以上
(海にいこーよ掲載後昨対102%、
15,572PV 増)

海水浴場スポットのお気に入り登録回数
(より海に関心・感度が高いユーザーの行動数)
3536回
(海にいこーよ掲載後昨対102%)

海水浴場スポットと
海にいこーよの閲覧回数の前年比較

(単位:千) (単位:千)

2018年度 2019年度

■ 海水浴場スポット ■ 海にいこーよ

海にいこーよ掲載イベント数
833件 (昨対251%)

イベント総閲覧回数
18万回 (昨対161%)

イベント件数とイベント閲覧回数の
前年比較と月別推移

(単位:千) (件)

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月

■ 2018年度PV ■ 2019年度PV ■ 2018年度 ■ 2019年度

海水浴場スポットのロコミ投稿数
(※夏休み期間中)
82件 (海にいこーよ掲載後昨対154%)

海水浴場スポットのロコミ閲覧数 (2次的な波及効果)
(※夏休み期間中)
11万回
(海にいこーよ掲載後昨対138%)

海水浴場スポットのロコミ投稿数と
ロコミの閲覧回数の前年比較(※夏休み期間中)

(PV) (件)

2018年度 2019年度

■ ロコミ投稿数 ■ ロコミ閲覧数PV

ユーザーアクション総数
(お気に入り・ロコミ投稿など、より海に関心・感度が高いユーザーの行動数)
16,176アクション
(海にいこーよ掲載後昨対113%)

ユーザーアクション総数と前年比較

2018年 2019年 2018年 2019年 2018年 2019年 2018年 2019年 2018年 2019年

6月 7月 8月 9月 10月

■ 行きたい(水族館) ■ 行きたい(海水浴場) ■ ロコミ(水族館)
■ ロコミ(海水浴場) ■ 後で読む

事業施策詳細
- 海デビュー応援施策 -

企画設計の要旨等

■コンセプト

親子が海に行かない理由を徹底的につぶすことで子どもの「海デビュー」を最大化する。

■取組内容

- 海デビュー応援ページの設置
- 海デビュー応援記事14本の掲載
- 以下の取組みにより取得したデータ等を反映した海デビュー応援マニュアルの制作・配布
 - 教育専門家へのインタビュー
 - 子連れでの海のおでかけをテーマにした座談会
 - 945人の親に向けた海のおでかけについてのアンケート
 - 未就学児向けの親子の海デビューイベントと実践と感想収集
- 子ども記者イベントの実施

本施策総括

海デビュー応援施策では、WEBでの海デビュー関連記事掲載や機能強化、複数の取組みによって取得したデータを反映した海デビュー応援マニュアルの制作と自治体等への配布、親子向け海イベントなど様々な角度から親子の海デビューを応援する施策を実施しました。

これらの取組みについては以下の通り、成果を上げることができたと考えております。

- 海デビュー応援記事としては、「海が子どもの成長に与える影響」を専門家へインタビューし記事化、また、「海のおすすめスポットまとめ」や「はじめての海ガイドシリーズ」など全14本制作し掲出しました。掲出記事全体では、約84,000PVとなっており、初年度の施策としては相応の成果を得ることができたと考えております。また、次年度以降も活用可能な汎用的な内容にまとめたことで、継続的な波及拡大を図ることができると考えています。
- 海デビュー応援マニュアル制作では、まず、945人へ子連れでの海体験に関するアンケート実施(定量調査)や座談会(定性調査)を通して、データを収集、実際の海デビューイベントを実施し、次年度以降も活用可能な海デビュー応援マニュアルとしてまとめ上げました。制作したマニュアルは冊子化し、33の地方自治体、ライフセービング協会等へ計約12,000部を配布しより多くの親子へ本マニュアルが行き渡る施策も実施することができました。
- 子ども記者イベントでは、「交通(電車)」「地域」「海」など、子ども達の興味のもてるポイントを多角的におくことで、幅広い子どもを集め海を学び・楽しむ体験イベントを実施しました。子ども達が、様々な海に関する事柄を取材し、アウトプットとして新聞にまとめるイベントであることから、積極的にわからないところや、関心がある部分を深掘りしていく姿があり、その成果は、子どもたちが作成した新聞からも読み取ることができるものとなりました。また、朝日小学生新聞と連携することで、取り組み内容を約10万5千部の露出を行うことができたとともに、伊豆急行の社内刷りポスター、下田駅や伊豆高原駅の駅貼ポスターとしての露出を図ることができました。

■ 海デビュー応援ページ

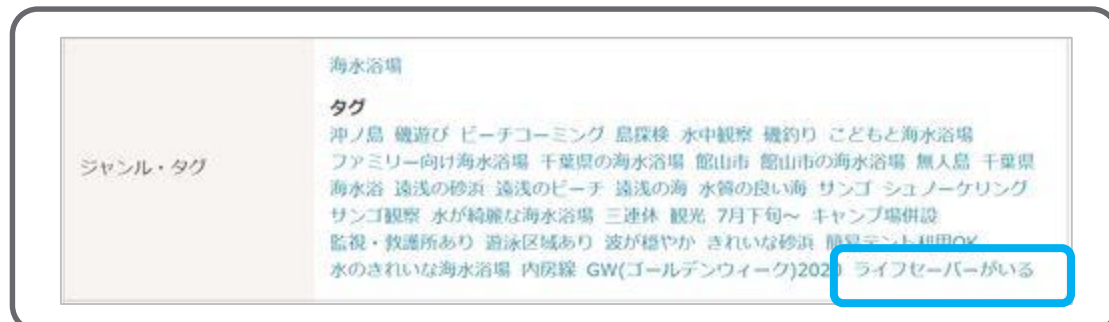
海デビューを応援する記事・マニュアルなどをまとめた特設ページとなります。

海デビュー応援ページURL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp/debut



「ライフセーバーのいる海水浴場検索」
「海の家がある海水浴場検索」など、より親子が安心して海を楽しむことができる場所を検索することが可能。



■海デビュー応援記事

【電車で行ける駅近の海水浴場10選】(33,910PV)、「海浴いグランピング7選」(10,211PV)、「関東近郊の最新&おすすめ海上アスレチック6選」(21,431PV)などの記事が特に人気のコンテンツとなっております。

NO	記事タイトル	URL
1	尾木ママに聞く！海での体験が生むメリットと子供への好影響！	https://iko-yo.net/articles/4602
2	海デビューの時期や海遊びのメリットは？ママの本音座談会！	https://iko-yo.net/articles/4648
3	はじめての海水浴ガイド 子供と安全に楽しむ方法&注意点&持ち物	https://iko-yo.net/articles/4648
4	親子初めての潮干狩りでも安心！持ち物&採り方&楽しみ方紹介	https://iko-yo.net/articles/4579
5	初めての海釣りガイド！親子に最適な釣り方&持ち物&注意点も	https://iko-yo.net/articles/4649
6	はじめてのビーチコーミングガイド	https://iko-yo.net/articles/4669
7	初めての磯遊びガイド！持ち物・楽しみ方・注意点・探し方も！	https://iko-yo.net/articles/4679
8	初めての親子クルージングガイド 設備&楽しみ方&注意点も！	https://iko-yo.net/articles/4761
9	関東近郊の海上花火が楽しめるスポット6選 海水浴場&時期も！	https://iko-yo.net/articles/4541 https://report.iko-yo.net/articles/13957
10	【関東】電車で行ける駅近の海水浴場10選 車不要&アクセス便利	https://iko-yo.net/articles/4540 https://report.iko-yo.net/articles/13956
11	【関東近郊】海浴いグランピング7選 おすすめ楽しみ方&料金も	https://iko-yo.net/articles/4600 https://report.iko-yo.net/articles/14007
12	関東近郊の「海浴い道の駅」6選 磯遊び・動植物・海の幸も満喫	https://iko-yo.net/articles/4659 https://report.iko-yo.net/articles/14052
13	関東近郊の最新&おすすめ海上アスレチック6選 期間&料金も！	https://iko-yo.net/articles/4703 https://report.iko-yo.net/articles/14083
14	【関東】おすすめ水陸両用バス6選 料金・コース・見どころ紹介	https://iko-yo.net/articles/4794 https://report.iko-yo.net/articles/14155

海デビュー応援マニュアル

海デビュー応援マニュアル制作に係る取組の流れ

データの収集

収集データ①

教育専門家へのインタビュー実施



収集データ②

親に向けた海のおでかけについてのアンケートを実施



収集データ③

子連れでの海のおでかけをテーマにした座談会を実施



収集データ④

未就学児向けの親子の海デビューイベントを実施



海デビュー応援マニュアルを制作・冊子化

地方自治体等へ配布

海にいこよWEBへ連携

海デビュー応援マニュアル

■ 収集データ① 教育専門家へのインタビュー

■ 目的

“海での自然体験が子どもの成長に与える好影響”について教育視点からの裏付けを得ること。

■ 教育専門家

**尾木直樹 先生**

教育評論家。元法政大学教授。臨床教育研究所「虹」所長。早稲田大学卒業後、教師として22年、大学教員として22年、合計44年間現場に携わる。その経験を活かし、子育て・教育に関する調査・研究のほか、著書や講演会、テレビ出演など幅広く活躍中。「尾木ママ」の愛称で幼児からお年寄りにまで親しまれている。

■ インタビュー概要

◆ インタビュー内容（主たる質問項目）

- ・子供の成長過程での自然体験の大切さ
- ・子供の成長過程での海での体験の大切さ
- ・海でできる原体験とその影響
- ・尾木直樹 先生の実体験

◆ インタビューを通して伝えたい視点

- ・近年の子育て事情
- ・これからの子供に必要な力
- ・賢い子供を育てるために
- ・知的好奇心を育てるために海（自然）に触れる重要性
- ・親子での海（自然）体験の有用性

※実際にインタビューを行った結果は記事としてもまとめてあります。

尾木直樹 先生インタビュー記事URL

<https://iko-yo.net/articles/4602>

海デビュー応援マニュアル

■ 収集データ② 親に向けた海のお出かけについてのアンケート

■ 目的

実際に子連れで海へお出かけした際の子どもの反応等をアンケートを実施多くの声を収集すること。

■ アンケート実施数

アンケート依頼数：945人（内：568人が子連れでの海体験あり）

■ 質問内容と回答

※以下は、子連れでの海体験ありの568人への質問内容と回答となります。

① はじめてお子さんを海に連れていった時のお子さんの反応はどうでしたか？（複数回答可）

選択肢	該当数	割合
積極的に海に入って遊んだ	203	36%
波打ち際までで、海には入ろうとしなかった	201	35%
海にはほぼ入らずに、砂浜・岩場で遊んだ	154	27%
海での遊びには興味を持たずに、普段と同様の遊びをしていた	6	1%
すぐに帰りたがり、すぐに帰った	17	3%
最初は怖がって（泣いて）いたが、最後は海に入って楽しんでいた	97	17%
その他	14	2%

② ①で「最初は怖がって（泣いて）いたが、最後は海に入って楽しんでいた」を選択した方へお聞きします。お子さんはどのようにして、海に慣れていきましたか？

回答内容（一部抜粋）
一緒に浮き輪で繋がって入ってから。
最初は一緒に近くまで行って水と一緒に遊んでから浮き輪を持ってプカプカ浮き輪のみ浮かせてから（子供様の浮き輪）で少しずつ海に近づく。
一緒に入り、浮き輪でぷかぷかしてるうちに慣れて遊び出した。
浮き輪で浅瀬から。お友達も一緒だったことが楽しむことに影響を与えたと思います。
親と一緒に抱っこで泳いだり、浮き輪でぷかぷかしてたら慣れてきました。
まずは抱っこしながら入り、水に慣れたのを確認してから浮き輪を使用して一緒に入りました。
浮き輪などで一緒にプカプカ浮かんだり浅い所で遊ばせてから。
最初は、だっこして一緒に入ったが、慣れたらひとりで浮き輪で浅瀬の所で楽しんでました。

海デビュー応援マニュアル

③お子さんの海デビューは何歳ですか？また海デビューの思い出を具体的に教えてください。

回答内容(一部抜粋)
2歳です。大きな海を見て怖がり、足をつけるのも怖がるので抱っこしているとガッシリとしがみついで捕まってきました。
2歳。白浜で砂眼が細かく、足裏に負担の少ない海岸にしました。海に入るのは怖いのに、海風は気に入って、ずっとたたずんでいました。
海デビューは2歳。水が動いて近付いてくるのが不思議、波打ち際でゆらゆらしてるワカメが何となく怖い、などと言って波打ち際で少し足をつけただけでした。それでも本人は楽しかったようで、また行きたいと言っていました。
海デビューは息子が3歳の時ハワイでした！！上の子が積極的に入って行ったので下の子も楽しそうに入っていました。
海デビューは3歳ごろ。最初は怖がってましたが、周りの子が楽しんでいる様子を見て足が浸かるところまでいけるようになりました。パパも張り切って海遊びをしていたので、娘だけでなくパパにとっても素敵な思い出です。
3歳デビューです。しょっぱい海水、石、貝とたくさんの事に興味を示していました。
3歳です。浮き輪で海に入りました。怖がらず楽しんでいました。

④初めての海に限らず、お子さんの海での遊び方についてお伺いします。
当てはまる行動があれば選択して下さい。(複数回答可)

選択肢	該当数	割合
広くて大きな海に、いつもとは違ったはしゃぎ方をした	254	45%
貝拾いに夢中になり、貝の形や色の違いに気づき、興味を持った	246	43%
砂浜でビーチボールや追いかけて楽しむ	98	17%
大小の波が起きることを不思議がったり、楽しんだりした	223	39%
磯遊びで小さな魚や生き物を探したり、捕まえたりした	163	29%
砂浜で集中してお城をついたり、穴をほったりした	248	44%
海の家での食事やおやつを楽しんだ	126	22%
捕まえた魚や蟹などを袋や水槽にいれ、エサをあげたり、観察したりした	45	8%
拾った貝やキレイな石を袋やポッケにいれ、パパやママに教えてくれた	225	40%

海デビュー応援マニュアル

⑤ お子さんの海での成長エピソードがあれば、具体的に教えてください。

回答内容(一部抜粋)
海に行って海の生き物に興味を持つようになり図鑑などを集中して見るが多くなりました！
最初は浅瀬で座りながら砂の感触を楽しんでいましたが、すぐに慣れて海の波を浮き輪に乗って楽しめるようになりました。海の生き物にも興味を持ち、帰宅後も図鑑で調べたりしました。
本を読む習慣、欲しいという要望がなかったが、海でカニを発見しつかまえ、それから、図鑑が欲しいといひだし、ポケット図鑑をかいたした。
どうして波が立つのかとても気になったらしく、学校から図鑑を借りて読んでいた。
捕まえた魚や蟹などの生き物をきっかけとして、その他の海中生物にも興味を持ち図鑑等を見るようになった。
次に行った時には、水を怖がって入らなくなったが砂浜で穴をほじくって遊んで、でてきたカニを図鑑で調べて名前を覚えた、それから海の生き物に興味を持って図鑑や水族館について物知りになった。
捕まえた魚や蟹などの生き物をきっかけとして、その他の海中生物にも興味を持ち図鑑等を見るようになった。

⑥ お子さんと海に行く頻度を教えてください。(海水浴だけでなく、海を見に行く、砂浜を歩くなども含みます)(複数回答可)

選択肢	該当数	割合
月に数回以上は海に行く	28	5%
年に数回は海に行く	153	27%
年に1回は海に行く	195	34%
数年に1回くらいは海に行く	116	20%
ほとんど海に行くことはない	93	16%

⑦ ⑥で年に1回以上海に行くとは回答した方にお聞きします。海の魅力を教えてください。ご自身にとってのことでもかまいません。

回答内容(一部抜粋)
いつもとは違って開放的になれる、ストレスがなくなる気がする。
プールにはない、砂や海水、生き物等自然に触れ合えること。また、自然のこわさも、子供に話す機会になること。
普段の日常とかけ離れていて、心身ともにリラックス出来る。海で遊ぶと疲れるけど、健康的に遊べるので気持ちよく夜も眠れる。
普段は味わえない楽しさや開放感がある。
普段の都会生活では味わえない開放感が得られる。
心が落ち着いて悩みなくなる。
夏といえば海！自然そのものを身体で感じられるから。貝や魚を見つけて遊べるところが子どもにとって楽しいと思う。
海は見ているだけでも癒される。波も不規則なので、飽きることがない。自然を満喫している気分になれる。プールでは味わえないロケーション。
プールとは違い解放感がある。自然の中で遊ぶことで子供の成長に良い刺激になる。

海デビュー応援マニュアル

■ 収集データ③ 子連れでの海のおでかけをテーマにした座談会

■ 目的

アンケートからは取得できない踏み込んだ海体験談の情報を収集すること。

■ 座談会参加者

参加者数：12人(母親) ※座談会は2回に分けて実施

■ 座談会で収集できた情報

内容(一部抜粋)
子どもが海の絵を描くときに、海の色を“青”だけでなく“緑”なども入れて描き始めた。
幼稚園や公園の砂場で遊んでいるだけだと、砂はキレイなものではないと思われるが、海の砂を体験することで砂が汚いものだと思わなくなった。
海苔を取る体験が、海と食をつなげる体験や漁師のお仕事を身近に感じるいい体験になった。
海で魚を見せてても、その魚（サケ）とお寿司の魚（サーモン）が同じ魚なんだとは未だに思っていない。生きてる魚と食べる魚の途中段階を見せることでつながりを考えられるようになっていった。
海に入る前に、プールで水に慣れておくというのも、ハードルを下げる一つの策かもしれない。

■ 座談会の様子



※実際に座談会を行った結果は記事としてもまとめてあります。

座談会記事URL

<https://iko-yo.net/articles/4648>

海デビュー応援マニュアル

■ 収集データ④ 未就学児向けの親子の海デビューイベント

■ 目的

実際の海デビュー体験を通しての子どもたちの反応や、親の意見を収集しマニュアルへの落とし込みを行うこと。

■ 基本情報

イベント名	開催場所	開催日	参加人数
親子の海デビューを応援！ライフセーバーに教わる海水浴体験！	千葉県・館山 北条海水浴場	7月24日(水)	計4組 (子ども6名、大人4名)

■ 参加者属性

子連れでの海水浴が初めての親子、不安がある親子に参加頂きました。
※当日は、3～6歳の子どもたちが参加しました。

■ 講師



飯沼 誠司 氏

3歳から水泳を始め、大学からライフセービングを開始。世界の大会で好成績を残す。現在もトップライフセーバーとして「館山サーフクラブ」等を拠点に、海岸の環境と安全を守っている。また、世田谷では子どもたちに水泳&ライフセービングを教える活動なども行う。

■ 実施内容

①事前レクチャー

- ・海とプールの違いについて
- ・海に行く適正日について
- ・前日チェック内容について
(体調/天気等)
- ・持ち物について
- ・適正な服装について

②海レクチャー～海デビュー体験

- ・ベース(浜辺での拠点)を決めるために必要なことについて
(適正な設置場所 等)
- ・遊ぶ位置の選定について
- ・砂浜での遊び(準備体操/ビーチフラッグ/砂遊び)
- ・危険ポイントのレクチャー(親向けに)
- ・海デビューの実施(実際に海へ入水)

③座談会実施 ・意見の収集

■ 体験の様子



海を怖がることなく、楽しく遊ぶ姿が印象的でした。

海デビュー応援マニュアル

■参加者の感想

出典：イベント実施後アンケート等

内容
改めて、海はプールで泳ぐだけでは味わえない経験が沢山できて、すごく良いと思いました。また、子どもと自然で思い切り遊ぶことはより良い思い出にもなるし、教育的にも、親子のつながりが深くなり、日焼けを気にするより、沢山海に連れて行かねばならないなと思いました。
いつもは、とてもビビりでお風呂で髪を洗うのも嫌がるくらいなのですが、海では髪が濡れてもへっちゃらで波に向かっていく姿がとてもたくましく感じました。また、海に行く時の準備物や天候以外にも潮の満ち引きの状況も調べること、海での遊び方や海での体のならし方や順番など、多くのことを学びました。
いつもはドボンと入っていたので、入水から徐々に水に慣れていく方法は取り入れたいと思いました。家族や知人にも子どもと行く時の持ち物や入水の仕方、新しい遊び方やライフジャケットの着用など伝えていきたいです。
親子共々、とても楽しめました。また、海の遊び方やライフジャケットの良さがわかりました。

※体験の様子は記事としてもまとめてあります。

海デビュー体験記事URL

<https://iko-yo.net/articles/4814>

海デビュー応援マニュアル

海デビュー応援マニュアル

次年度以降も汎用的に活用可能なマニュアルを制作。

表面

裏面

ハッチリ準備で、海を120%楽しもう!

海デビュー 応援マニュアル

Tips for Beach Safety for Babies and Toddlers

広がる水平線、波の音、砂浜の感触、潮の匂い。
海での体験は、子どもたちの五感を刺激し、考える力や生きる力を引き出し、
ここでしか味わえない楽しい記憶を残します。そんな魅力満載の海時間を、
安全・快適に過ごすために、必要な準備や知識をここにまとめました!
これを読んで、ぜひ、楽しい海デビューをかなえてください。

親子そろって泳げないので不安でしたが、海での遊び方を
知って不安が払拭されました

自然の中で過ごすことで
想像力や対応力を
養えるのがいいですね!

ライフジャケットが安全で
便利なものだとしめしめ体験。
買おうと思います!

子どものテンションが
いつも以上に高くて
楽しそうでした!

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
海と日本 PROJECT

次世代価値コンソーシアム いこいこ U-Next 海と日本

海での体験は、多くの興味や感動、気づきを与えてくれます

海での体験がもたらす 子どもの心と体の豊かな成長

自然体験は子どもの成長にとってとても重要と語る
教育評論家の尾木直樹さんに、
その効果について詳しくお話を伺いました。

尾木直樹さん

海での体験は、子どもの成長にとってとても重要な要素と語る教育評論家の尾木直樹さんに、その効果について詳しくお話を伺いました。

— 子どもの成長に大事な自然体験とは、どういうもの? —

自然の中で体験は、子どもの生きる力を育むために大切な『原体験』にあふれています。原体験とは、五感を過剰に自然にふれる原始的な経験のことです。『火の体験』『水の体験』『土の体験』『動物の体験』『草の体験』『石の体験』『ゼロ体験』の8つの領域があります。例えば、火を起こしバチバチする音や煙が出ることを知ったり、樹木から種が発芽するのを見て自然の輪廻を学んだり、キャンプで虫に身をおいて恐怖を体験したりすること。海では、このようなたくさんの原体験ができます。

— 海での自然体験は子どもの成長に、どんな影響を与えるの? —

昔今、スマホゲームを含めたゲームへの依存や、『子どもロコモ(運動器症候群)』の増加が問題となっていますが、自然の中では、ゲームのような人為的なものからは得られない体験ができます。自然体験の中で、五感を使い、運動器そのものを鍛えることで、予期しないことに対応する力を養えます。これは、『一寸先が予想できない』環境だからこそできること。例えば、砂浜が簡単に歩けないほど熱いことや、海の水がしょっぱいこと、穏やかな波が突然大きくなること。こういった体験の一つひとつが子どもの心身を成長させ、感性を豊かにしてくれます。また、実際に海に行くことで、近年問題視されて

いる海のプラスチックゴミ問題など地球環境に関心を持つこともできるかもしれません。

子どもと一緒に自然を体験、感動や気づきを持ち帰ろう

— 子どもと一緒に体験する、オススメの海遊びは? —

実は海は、小さい子どもと一緒にいくには、とてもいい場所なんです。だって、小さい子どもと一緒に山登りするのは大変だけど、海なら体力に自信がなくてもぼーっと眺めているだけでも気持ちいいもの。海で聞こえる波などの不規則な音は、『1/1ゆらぎ』といって、脳に心地よい感覚を与えてくれるんです。だから、子どもと一緒に砂遊びしながら、のんびりしているだけで効果絶大。貝探しをしたり、砂浜でお山を作ったり、そこに水を流してせき止めたり、子どもたちの発想に任せて楽しめます。親と一緒に楽しんでサポートすると、さらに子どもはやる気になるもの。

読者の皆さんには、自然体験の中で、ぜひたくさん子どもをほめてあげてほしいと思います。ほめることは認めること。ちゃんと見て、認めていると伝えることが大事です。

海は心も体も成長できる貴重な場所。子どもには、ぜひ海の体験をさせてあげられるといいですね。

お話を聞いたのは—
尾木直樹さん
教育評論家、法政大学客員教授、NHK教育「紅」司会、中・高・大学在学中の教育現場での経験をもとに、『尾木ママ』の執筆で知られています。
【尾木ママ オフィシャルサイト】
<http://ogimama.jp/>

海に多い子どものトラブルの「そなえ & 対処法」

海のレジャーを楽しむために、トラブルへの「そなえ」と「対応の仕方」も知っておきましょう。

迷子	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 目立つ色の水着や帽子を着用する。 ▶ 子どもの特徴や名前を覚えておく。 ▶ 集合場所を決めておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ライフセーバーと監視員にすぐに知らせる! ▶ 集合場所へGO!
おぼれる	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ライフジャケットを着用する。 ▶ 軽ヘルムとホイッスルつき・蛍光色のものがおすすめ。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自分で助けに行かず浮き輪を投げてライフセーバーへ連絡! ▶ おお向きに浮いて、呼吸と体力を保つよう指示する!
ケガ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長そでのラッシュガードなど、肌を露出させない服装にする。 ▶ マリンスーツの着用もおすすめ。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 切りすぎ、すりすぎ、傷口を洗ってガーゼで止血。体を休める。 ▶ クラゲにさされた→海水で洗って病院へ。 ▶ エイなどにさされた→冷やすとNGなことあり。病院へ。

WEBサイト「海にいこーよ」
子どもの海体験はこんなに魅力的! 『海と日本PROJECT』と『いこいこ』のコラボ特撮です。

WEBサイト「海にいこーよ」では、「海と遊ぼう! 海を学ぼう! 海を体験しよう!」をテーマに、海の魅力を発信しようとお話しています。海へのおでかけにぴったりなイベント情報や海に関する最新情報など、海を遊んで、海を学んで、海に集うための情報が満載。ぜひ、家族での出かけにお役立てください。

海難事故時連絡先

もしもの時は、どこに連絡する? SOSはここへ! 緊急事態にそなえて、知っておくべき連絡先をまとめました。お出かけ前に、しっかり確認を。

海水浴場内なら **ライフセーバー**と監視員に助けを求めよう!
海水浴場の外なら **118**(海上保安庁) **110**(警察) **119**(消防)

発行：一般社団法人次世代価値コンソーシアム 企画：子ども向け情報サイト「いこいこ」(発行)「海にいこーよ」
編集協力：尾木直樹さん、海と日本PROJECTの「海にいこいこ」

裏面には、尾木先生の記事や、トラブルが起きた際の対応方法、緊急連絡先等を掲載。

海デビュー応援マニュアル

中面

ライフセーバーに
安全な海デビューのHOW TO

海って楽しい! を子どもと一緒に再発見

夏のレジャーといえば海水浴! でも、子どもと初めての海は、準備や安全面が心配……。そこで海の安全を守るライフセーバーの飯沼さんに、安全&楽しい海デビューのノウハウをうかがいました。

水中も砂浜も、海は魅力的な遊びの宝庫です!

お話を聞いた人
飯沼誠司 (いのま せいじ)
3歳から海水浴を始め、大学からライフセービングを開始。日本の大会でチャンピオンになる。海外もトップレベルの選手として「富士山マラソン」等を転戦し、海岸の環境と安全を守っている。また、琵琶湖では子どもたちに水泳とライフセービングを教える活動なども行う。

Getting ready 準備編

01 いつ、どこに行く?

まずは行きたい地域の「海びらき情報」を集めましょう。その中でライフセーバーがいる海水浴場を選ぶと安心です。

POINT
オススメ海水浴場の4つの条件

- ライフセーバーがいる** 監視員だけでなく人命救助のエキスパートであるライフセーバーがいる浜なら、もしもの時にも安心!
- 波が荒くない** 子どもと一緒に、穏やかな波の高さがあるライフセービングポイントとなっている浜は波が高めです。
- 砂浜が白っぽい** 荒っぽい色の砂浜は日中温度が高くなりやすい。白い砂浜の方が温度は上がりにくいんです。
- シャワーやトイレ完備** トイレはもちろん、肌の敏感な子どものためにシャワーもさっと浴びられる環境がベスト。

02 前日にチェックすべきこと

体調チェック
思いのほか体力を使う海水浴。全力で楽しむために、睡眠時間をたっぷりとり、朝食をきちんと食べるなど、子どもの体調は万全に!

お天気チェック
数日前からお天気を確認し、当日は注意報、警報をチェック。積れていても風の状況などを確かめて。波が荒いと、遊泳禁止になっている場合もあります。

03 なにももっていく? ライフセーバーの視点から、海デビューにオススメの持参品を教えてくださいました。

ぜひもっていくべし! リスト

着るもの	<input type="checkbox"/> 水着 <input type="checkbox"/> 水泳帽 <input type="checkbox"/> 帽子 (水の中でも使えるもの) <input type="checkbox"/> サングラス
海水浴グッズ	<input type="checkbox"/> 長袖ラッシュガード <input type="checkbox"/> マリンシューズ (サンダル以外がオススメ) <input type="checkbox"/> ライフジャケット <input type="checkbox"/> 着替え (防虫用の上着なども)
食べもの/飲みもの	<input type="checkbox"/> テント/パラソルなど (日焼けにもなるもの) <input type="checkbox"/> 日焼け止め <input type="checkbox"/> レジャーシート (熱くなるので厚手) <input type="checkbox"/> バスタオル (体を拭く用以外に防虫用も) <input type="checkbox"/> ビニール袋 (土のうを詰ったり、貝を詰めたりなど) <input type="checkbox"/> ゴミ袋
遊びグッズ	<input type="checkbox"/> 塩分がはいった飲みもの <input type="checkbox"/> おむすびなど (塩味を効かせて) <input type="checkbox"/> 凍らせた水などのペットボトルや水筒 <input type="checkbox"/> 水中メガネ <input type="checkbox"/> 浮き輪 (サイズが合った安全なもの) <input type="checkbox"/> 砂遊びグッズ

あつらいいなグッズリスト

<input type="checkbox"/> 替えの水着 (取った時に着替える用)	<input type="checkbox"/> 滅菌ガーゼ
<input type="checkbox"/> パケツ	<input type="checkbox"/> 絆創膏
<input type="checkbox"/> 医療用テープ	<input type="checkbox"/> 保冷ボックス
<input type="checkbox"/> とげぬき	<input type="checkbox"/> 消毒液

Lifesaver's Advice
ビーチでは暑さ&寒さ対策を! 子どもの水着&水泳帽は蛍光色がベスト
水中では体が冷えがち。防寒用の服やタオルの持参を。水着や水泳帽は見つけやすい消手色をジャストサイズで! 大きかったり窮りが多いと水の中で動きにくくなるよ。

食べもの・飲みものは必ず持ち帰る! 食べ残しは必ず持ち帰る! 海を、来た時よりもキレイにしよう!

砂入りビニール袋を重しにするシートが飛びません!

手を洗いにいくのも大変だから、真水があると便利です!

Spending time at the sea 海でのすごし方編

01 あそび位置を決める

パラソルやテントの設置場所は、ライフセーバーから見える位置に! 風に荷物が飛ばされないよう、風上にやや傾し、重しをしっかりと。

POINT
ライフセーバーから見える位置がBest

人の少ない場所を選ぶと、ライフセーバーから見えづらくなることも……。子どもの安全のために、ぜひライフセーバーから見える位置で遊んで、挨拶を交わしておくことで遊べる範囲や時間を覚えてくれるので、より安心です。

ライフセーバーのそばにあるフラッグの色の意味を覚えておこう!

赤と黄色のフラッグ 安全に泳ぐことのできるエリアに設置。2つのフラッグ間で遊泳を(設置なしの浜もあり)。	青のフラッグ 安全に泳げます。遊泳可。	黄色のフラッグ 波が高く、流れやうすいので、泳へは行かず足の着く範囲で遊泳を。遊泳注意。	赤のフラッグ 遊泳禁止です。
--	-------------------------------	--	--------------------------

02 子どもと一緒に周囲を探検

まずは周辺の状態を、子どもと一緒に遊びながらチェック。砂浜の温度、水温、透明度、波の高さなどを体感しつつ、安全な場所、危険な場所をチェックしておきます。

03 ゆっくり入水

波打ち際に立ち、足が砂に沈んでいく様子を体感する遊びなどをしてから、ゆっくり海の中へ。着る子は、パケツに入れた海水で水慣れからスタートを。

Lifesaver's Advice
楽しく海で遊ぶためのルールとは

- 1時間以上はテントや海の家の家など、日陰で休憩を!
- 子どもの体力から、滞在時間は2-3時間。その中で入水は30分程度がベスト!
- 絶対に子どもから目を離さないで! 入水は大人も一緒に!

こまめに水分&塩分を補給しつつ、ルールを守って海水浴を思いっきり楽しんでくださいね!

中面には、海に行く際の具体的なチェック内容や、海の入り方、過ごし方などを掲載。

海デビュー応援マニュアル

■ マニュアルの波及

① 地方自治体等への配布

海デビュー応援マニュアルを冊子化し、地方自治体等へ合計約12,000部を配布しました。

■ マニュアル配布先一覧

NO	名称	部署・課	場所
1	浜中町役場	商工観光課観光係	北海道
2	大船渡市役所	商工港湾部 観光推進室	岩手県
3	男鹿市役所	観光文化スポーツ部観光課	秋田県
4	鶴岡市役所	温海庁舎産業建設課	山形県
5	三浦市役所	経済部観光商工課	神奈川県
6	糸魚川市役所	産業部 交流観光課観光係	新潟県
7	敦賀市役所	観光交流課	福井県
8	香美町	観光商工課	兵庫県
9	和歌山市役所	観光課	和歌山県
10	笠岡市役所	商工観光課	岡山県
11	竹原市役所	産業振興課観光振興係	広島県
12	下関市役所	観光スポーツ文化部観光政策課	山口県
13	阿南市役所	企画部秘書広報課	徳島県
14	高松市役所	創造都市推進局観光交流課	香川県
15	伊方町役場	産業建設課 観光商工室	愛媛県
16	長崎市役所	文化観光部観光推進課	長崎県
17	上天草市役所	経済振興部 観光おもてなし課	熊本県
18	大分県佐伯市役所	地域振興部 観光課 管理係	大分県
19	石垣市役所	観光文化スポーツ局 観光文化課 観光推進班	沖縄県
20	積丹町役場	商工観光課	北海道
21	高岡市役所	産業振興部みなと振興課	富山県
22	珠洲市役所	観光交流課	石川県
23	越前町役場	商工観光課	福井県
24	下田市役所	観光交流課	静岡県
25	出雲市役所	経済環境部 観光課	島根県
26	三原市役所	観光課	広島県
27	日向市役所	商工観光部観光交流課観光推進係	宮崎県
28	江差町役場	まちづくり推進課	北海道
29	石巻市役所 雄勝総合支所	地域振興課	宮城県
30	旭市役所	商工観光課 観光班	千葉県
31	愛知県美浜町観光協会	美浜町観光協会	愛知県
32	京丹後市役所	役所商工観光部観光振興課	京都府
33	松江市役所	観光振興部 観光文化課 観光係	島根県
34	公益財団法人日本ライフセービング協会	-	東京都
35	海のそなえ未来会議	-	東京都

海デビュー応援マニュアル

②海にいこーよへの連携

海にいこーよの海デビュー応援ページに連携。

海デビュー応援ページURL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp/debut

こちらのバナーをクリックすると、マニュアルの閲覧・ダウンロードが可能。

海デビュー応援マニュアル

■その他波及

■イベントレポート

<https://iko-yo.net/articles/4814>

イベントレポートは海にいこーよへも連携しております。

海にいこーよトップページ

https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp

海にいこーよ 海デビュー応援ページ

https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp/debut



■新聞

房日新聞 (発行日：7/25(木))



■WEB(ブログ、SNS)

海デビュー体験参加者 (ブログ)



飯沼誠司氏 (facebook)



こども記者イベント

■ イベント概要

■ 基本情報

イベント名	開催場所	開催日	参加人数
こども新聞記者に挑戦！特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう！	静岡・伊東市～ 下田	8月3日（土）	計28名 (子ども12名、大人16名)

■ 概要

子どもたちが多角的に海を捉えるためのイベントを実施しました。今回、組み込んだ多角要素は【①交通(電車)の観点から「海を知る」】【②地域の観点から「海」を知る】【③「海」そのものを楽しみ「海」を知る】の3つとなります。子どもたちは、「こども記者」となり、「海にいこーよ」特別列車に乗り、伊東から下田へ移動する中で、伊豆の「海」を知り、そして、海の魅力に触れることで、子ども達の目線からの新聞を作成しました。また、子どもたちが作成した新聞を元に、新聞露出、車内・駅構内、WEB等を通し取り組み内容波及の最大化を図りました。

■ イベントの様子



イベントレポート記事URL
<https://iko-yo.net/articles/4862>

こども記者イベント

参加者の声等

出典：イベント実施後アンケート
有効回答数 子ども(大人)
海と日本プロジェクトフォーマット：12(10)
独自フォーマット：10(8)

【海プロアンケートより】

参加者属性

●性別

子ども

内容	該当数	割合
男性	7	58%
女性	5	42%

大人

内容	該当数	割合
男性	4	40%
女性	6	60%

●年齢

子ども

内容	該当数	割合
6歳	1	8%
7歳	2	17%
8歳	3	25%
9歳	3	25%
10歳	3	25%

大人

内容	該当数	割合
30代	3	30%
40代	7	70%

●住まい

子ども

内容	該当数	割合
東京都	4	33%
神奈川県	2	17%
埼玉県	1	8%
千葉県	2	17%
静岡県	2	17%

大人

内容	該当数	割合
東京都	3	30%
神奈川県	2	20%
埼玉県	1	10%
千葉県	2	20%
静岡県	2	20%

こども記者イベント

定量評価

【海プロアンケートより】

● イベント満足度について

子ども	内容	該当数	割合
	楽しかった	12	100%
	楽しくなかった	0	0%

大人	内容	該当数	割合
	満足した	83	100%
	満足しなかった	0	0%

【独自アンケートより】

● 海に関する気持ちに変化について ※複数回答可

子ども	内容	該当数	割合
	海についてもっと知りたくなった	4	40%
	海を近くに感じるようになった	2	20%
	海がもっと好きになった	5	50%
	また海に行きたいと思った	8	80%

大人	内容	該当数	割合
	海への興味・関心が（より）高まった	5	63%
	海への親しみを（さらに）感じるようになった	4	50%
	海が（より）好きになった	3	38%
	また海に行きたいと思った	4	50%

● 海の自然について考えるきっかけになったか

子ども	内容	該当数	割合
	はい	7	70%
	いいえ	3	30%

大人	内容	該当数	割合
	はい	8	100%
	いいえ	0	0%

こども記者イベント

定性評価

●参加者の感想

感想

【子ども】

- ジオパークについて知ることができました。
- 外浦の良いところを伝えていきたいです。
- 下田の海はきれいでした。
- 伊豆の海が綺麗だったこと。そして、100年後に島がくっついてしまうことがわかりました。
- 伊豆にたくさん魅力があることがわかりました。

【大人】

- 親のほうか海や自然に親しんでいないことを実感しました。親子で学んでいかないといけないと思いました。
- ものすごくきれいな伊豆の海を家族や友人伝えていきたい。
- 少しのきっかけで子どもはたくさんの学びが可能だと思いました。スタッフの皆様ありがとうございました。

こども記者イベント

■制作物

【イベント当日向け】

■特別列車 装飾

子ども達がイベントに夢中になるよう伊豆急行を「海にいこーよ号」として装飾しました。

■ヘッドマーク




■車内中吊り



■ 車内側面

海の生き物についての説明を掲載。子ども達が海に興味を持つように工夫しました。

[下田の磯で見つかる愉快的な生き物]

<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ①</p> <p>カニのなかま</p> <p>イワガニ、イソガニ、ヒライソガニ、イソクスガニ、オウギガニ、ベニツガニ、イボイワオウギガニ、ショウタンガニ、スベスベマンジュウガニ など</p>  <p>ヒライソガニのこぶの模様はいろいろ。ハートマークを見つけると楽しいがけなうか?</p>	<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ②</p> <p>甲殻類 ヤドカリのなかま</p> <p>ホンヤドカリ、イソヨコバサミ、ケアシホンヤドカリ、オニヤドカリ、イシダタミヤドカリ、イソカニダマシ など</p>  <p>ホンヤドカリはものほきあがでかい、イソヨコバサミは背むけだ</p>	<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ③</p> <p>棘皮動物 ウニのなかま</p> <p>ムラサキウニ、ハワシウニ、アカウニ、コシダカウニ、ガンガゼ、タコノマクラ など</p>  <p>腹中のがけは紅白、口は黒いについでいる。とげで身を守るが、とげではまかない、背殻という強い殻を出して多くんだ。下田の海にもうこれはいらぬ。お徳地帯でいはいはるのウニだ。しかし、下田ではウニはあまり食用にされぬ。やはりお徳地帯の方がいはいはるまわっているようだ。身といっしょにみんなが食べているのはウニの卵巣や精巣だ。</p>	<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ④</p> <p>棘皮動物 ナマコのなかま</p> <p>マナマコ、ニセクロナマコ、トラフナマコ、ムラサキクルマナマコ など</p>  <p>初めは気持ち悪いが、触っているうちにみんなとりにこなる。でもあまり触りすぎはけいけない。そのうちに内臓を吐き出すからだ。触らなければならぬが触れぬ。触れれば内臓を吐きだして、そのときに泳げる。お徳地帯にいない、内臓はすべて再生するんだ。すごいね。アマコ!</p>
<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ⑤</p> <p>棘皮動物 ヒトデのなかま</p> <p>ヤツデヒトデ など</p>  <p>ヒトデという名前は想像するとうろた、下田ではそんなヒトデにはなかなか目にかからない。よくいるのが腕が5本のアツデヒトデだ。腕が短くて太い。すぐ再生する。とれた腕からも再生する。中には再生する時に使って9年、10年と腕があるヤツデヒトデもいる。ヒトデの腕のくせヒトデもよくいる。これはもう字面からの想像かと驚くほどだ。ぜひ実物を見てもらいたい。</p>	<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ⑥</p> <p>魚類</p> <p>アゴハゼ、ヘビギンポ、クモハゼ、メタナ など</p>  <p>産卵場にいる魚たちの観察も楽しいし、産卵があればスノーリングもやってほしい。カラフルでかわいらしい魚たちと友達になれる。</p>	<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ⑦</p> <p>軟体動物 ウミウシのなかま</p> <p>アオウミウシ、シロウミウシ、クモガタウミウシ、メリバウミウシ、アメフラシ、タツナミガイ など</p>  <p>アメフラシは腕の仲間。遊んでいる中に貝殻がある。背中から硬体を出して殻が閉ったようにあたりをムラサキに染める。アメフラシの名前の由来だ。メリバウミウシは実に面白い殻が閉ったまわっている。たまに貝殻が閉ったまわっている。お徳地帯のさわやかな風景がする。</p>	<p>下田の磯で発見!! 愉快的な生き物 ⑧</p> <p>軟体動物 巻貝のなかま</p> <p>アラレタマキガイ、イボタマキガイ、タマキガイ、イシダタミガイ、アマオブネガイ、アマガイ、クボガイ、パチウ、ウラウラガイ、イボニシ、オオヒガイ など</p>  <p>タマキは水が嫌い、イシダタミガイは多くのが嫌い、巻貝の巻はなぜかみんな巻く。</p>

[下田の磯で見つかる愉快的な生き物]

<p>注意! 磯で見たらご用心!!</p> <p>ヒモウモンダコ</p> <p>カラフルなタコだがかまれると猛毒を持っています。手のひらにのせて遊んでいるときに かまれることが多いので注意しましょう。</p> <p>ウミケムシ</p> <p>ゴカイの仲間。体毛に毒があります。さわると手に刺さるので 気をつけてください。</p>	<p>注意! 磯で見たらご用心!!</p> <p>ラッパウニ</p> <p>ラッパのようなげに毒を持っています。真手で触らないようにしましょう</p> <p>ゴンズイ</p> <p>ヒゲの先に毒を持っている。無理で玉になって泳いでいることが多い!</p>	<p>注意! 磯で見たらご用心!!</p> <p>ウツボ</p> <p>岩のすきまなどにいます。本日はおとなしくおきびょう者。こちらからちょっかいを出さない限りウツボから襲ってくることはありません。</p> <p>ガンガゼ</p> <p>ウニの仲間。長いとげを持っています。このとげが刺さると 後げにいくら注意しても、</p>
---	--	--



こども記者イベント

■しおり 充実した1日となるよう内容をまとめて参加者へ配布しました。

特別列車にのって
いず
伊豆の海をテーマに
しんぶんさじ
新聞記事を作ろう！
- 伊豆の海を支える「モノ・コト」をさがす -

海と日本プロジェクト
いご-よ

今日のみちのり

伊豆半島の東側を走る伊豆急行に乗るよ！

① 10:15 伊豆駅
「海にいご-よ」列車しゅっぱつ！

② 11:23 下田外浦駅
ホームで記念撮影！

③ 12:53 伊豆急行「伊豆下田駅」到着！ここからはバスで外浦海岸へ！

④ 13:05 下田外浦海岸
海で手づくり！

今日のよてい①

伊豆急行

10:00 伊豆駅集合

10:15 伊豆急行「海にいご-よ」列車にのる

10:27 伊豆急行しゅっぱつ

10:30 せんぶん記者の「コンノさん」のおはなし
新聞記者 任命式
・今日のやること（もくてき）を知ろう！
・新聞記事の書き方や心がまえを知ろう！

10:45 伊豆の海にわいわい「サイトウさん」のおはなし
・伊豆の海の特産品をさがしてみよう！
（クイズ対決もあるよ！）

11:15 伊豆急行の「イナバさん」のおはなし
・伊豆急行と海の関係を知ろう！

11:50頃 おひるごはん
おとうさん・おかあさんといっしょにたべてね！
・景色を楽しもう。

11:23~12:40 蒲白寺駅とつちやく
「海にいご-よ」列車と記念撮影

12:43 伊豆急行下田駅とつちやく
→ あらいてバス乗へ

今日のよてい②

伊豆急行下田駅

バス

12:55 バスにのる（10分くらいバスにのるよ）
・バスによいやすいひとは、おくすりを用意しよう。

13:05 下田外浦のバス停にとつちやく
ここから5分くらいあるよ

13:15 集合所にとつちやく
→ 海であそべる服装にきがえ

13:35 伊豆の海にわいわい「サイトウさん」とあそび
・種であそびかたを知ろう！
・種の名前を知ろう！

14:10頃 ライフセーバーの「タムシさん」のおはなし
・下田外浦の海を知ろう！
・海で注意することを知ろう！

14:20~14:50 自由時間
・下田外浦の海を楽しもう！
おとうさん・おかあさんと いっしょにあそんでね！

今日のよてい③

伊豆急行下田駅

外浦海岸

バス

14:50 集合所にいどう → シャワー・きがえ

15:40~16:20 新聞記事をかこう！
さいごのもくてき

16:20 終了式
名刺をもらおう！

16:25 アンケートにこたえる

16:30 あるいてバス停へ
5分くらいあるよ

16:45 バスにのる（10分くらいバスにのるよ）
・バスによいやすいひとは、おくすりを用意しよう。

17:00 伊豆急行下田駅とつちやく

17:00 解散
「いご-よしんぶん」記者のお仕事おつかえさまでした！
気をつけてかえってね！

磯で見つかるいきもの（いろいろなカニ）

カニのなかま

イワガニ、イソガニ、ヒライソガニ、イソナガニ、オウナガニ、ベニツガニ、イボイワナガニ、シヨウリンガニ、スベスベマンジュウガニ など

磯で見つかるカニトップ3を見分けよう！！

イワガニ
イソガニ
ヒライソガニ

磯で見つかるいきもの（カニのとくちょう）

●カニのオスとメスの見分け方は？

●カニの足は何本かな？

●これを見つけたら磯観察マスター！！

せんぱい記者 コンノさんのおはなし

新聞とは？

取材（しゅざい）のだいじなこと

- ①
- ②
- ③

写真（しゃしん）のとりにかた

メモ

もくてき 伊豆の海にわいわい サイトウさんのおはなし

もくてき 伊豆急行 イナバさんのおはなし

どんなことをしている人

もくてき 磯あそび

どんないきものがいた？

メモ

もくてき ライフセーバー タムシさんのおはなし

もくてき 伊豆外浦の海

自由にメモしよう

自由にメモしよう

「海と日本プロジェクト」とは

海と日本（にっぽん）プロジェクトってみんなしてるかな。みんなの周りには海があって遊んだり、海のお魚を食べたり海はみんなの生活を支えているの。

でも、人間のせいで海が汚れたり、お魚が減ったりして海に元気がなくなってきているの。

みんなに海が困ってることを知ってもらって、みんなで海を助けて、元気な海を未来に残そうとすることが、日本（にっぽん）財団がやっているプロジェクトだよ。

海と人とをつなぐ。さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときどきの安らぎやワクワク、ひらめきを生み出せる海。そんな海で遊んでいる環境の恵みなどの恩恵を、子供たちをはじめ全国のみんなが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の連携のもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

おまけ

こども記者イベント

■伊豆半島ジオパーククイズ

電車内での催しの一部として、伊豆半島を知るためのクイズを用意しました。

第1問

いずれはんとうはどれ？

1 2 3



正解は1



2 房総半島(ぼうそうはんとう)
3 能登半島(のとはんとう)

第2問

ジオパークのパークは公園^{こうえん}
という意味ですが、ジオは
どうい^い意味でしょうか？

- ① 火山 (かざん)
- ② 大地 (だいち)
- ③ 自然 (しぜん)

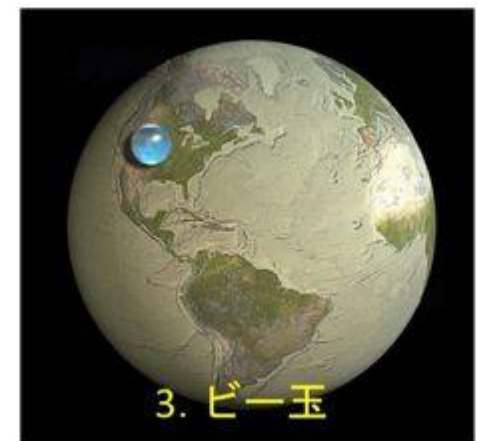
こたえ

- ② 大地 (だいち)

第3問

地球^{ちきゅう}がサッカーボールくら
いだったら、地球上^{ちきゅうじょう}の水を
全部集めるとどれくらい？

- 1、野球^{やきゅう}ボール
- 2、ゴルフボール
- 3、ビー玉^{だま}



こども記者イベント

■カニ博士1級に挑戦

下田での磯遊び時に子ども達が生き物を見つけるサポートツールとして用意しました。

カニ博士1級に挑戦!!

卵と寄生虫を見分けよう



卵を抱えたメスのカニ



フクロムシに寄生されたカニ

カニ博士2級に挑戦!!

イソクズガニのカムフラージュと オウギガニの死んだふりを見抜こう!!



イソクズガニ



オウギガニ

カニ博士3級に挑戦!!

カニ3種を見分けよう!!



ボクの自らは
背中の模様なんだ



イワガニ

ボクの
しましまの足
いいでしょ



イソガニ

ボクはこんなに
平べったいから
石の下だつて
隠れちゃうのさ



ヒライソガニ

カニ博士4級に挑戦!!

カニダマシ(ヤドカリのなかま) とカニを見分けよう!!

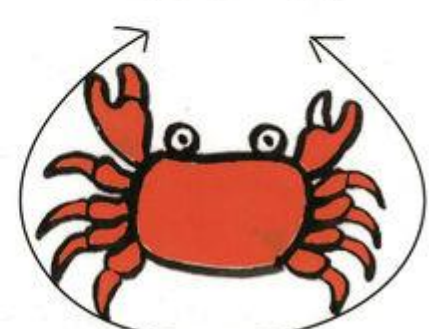


あしが8本



カニダマシ

あしが10本



カニ

カニ博士5級に挑戦!!

オスとメスを見分けよう!!



ここが
小さい



オス

ここが
大きい



メス

こども記者イベント

【イベントにて制作】

■ こども新聞

体験イベントを通して、子ども達が「海」の魅力を伝える新聞を制作。
新聞の名称・見出し・構成・内容含め子ども達が自ら考え・設定しております。



こども記者イベント

■ 取り組み内容波及

■ 朝日小学生新聞

今回の体験イベント内容を朝日小学生新聞へ掲載。(発行部数：約10万5千部)
読者に興味を持って読んでもらえるよう構成・内容を入念に設計しました。

特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう

みなさんは、伊豆の海を見たことがありますか。そして世界ジオパークという言葉を聞いたことはありますか。伊豆半島は、世界ジオパークにも認定された自然豊かなエリアです。この夏、体験やイベントを網羅した情報サイト「いこーよ」が企画したプログラム「特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう」に参加した小学生が新聞記者となり、伊豆急行の特別列車に乗って様々な取材を体験。伊豆の海の魅力を多くの人に発信する仕事に挑戦しました。

伊豆急行・伊東駅にこども記者が集結

伊豆急行の伊豆線に集合したのは、小学1年生から小学5年生まで。おとこの子も女の子も、みんな「いこーよ」が企画した「特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう」に参加した小学生が新聞記者となり、伊豆急行の特別列車に乗って様々な取材を体験。伊豆の海の魅力を多くの人に発信する仕事に挑戦しました。

新聞記者の書き方 心がまえを知ろう!

伊豆急行の伊豆線に集合したのは、小学1年生から小学5年生まで。おとこの子も女の子も、みんな「いこーよ」が企画した「特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう」に参加した小学生が新聞記者となり、伊豆急行の特別列車に乗って様々な取材を体験。伊豆の海の魅力を多くの人に発信する仕事に挑戦しました。

伊豆の海と海との関係を先生に取材しよう!

伊豆急行の伊豆線に集合したのは、小学1年生から小学5年生まで。おとこの子も女の子も、みんな「いこーよ」が企画した「特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう」に参加した小学生が新聞記者となり、伊豆急行の特別列車に乗って様々な取材を体験。伊豆の海の魅力を多くの人に発信する仕事に挑戦しました。

海の生き物と出会う磯遊び

伊豆急行の伊豆線に集合したのは、小学1年生から小学5年生まで。おとこの子も女の子も、みんな「いこーよ」が企画した「特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう」に参加した小学生が新聞記者となり、伊豆急行の特別列車に乗って様々な取材を体験。伊豆の海の魅力を多くの人に発信する仕事に挑戦しました。

伊豆の魅力を新聞にまとめました

伊豆急行の伊豆線に集合したのは、小学1年生から小学5年生まで。おとこの子も女の子も、みんな「いこーよ」が企画した「特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう」に参加した小学生が新聞記者となり、伊豆急行の特別列車に乗って様々な取材を体験。伊豆の海の魅力を多くの人に発信する仕事に挑戦しました。

さあ、今日の取材を新聞記事にしよう!

伊豆急行の伊豆線に集合したのは、小学1年生から小学5年生まで。おとこの子も女の子も、みんな「いこーよ」が企画した「特別列車に乗って伊豆の海を取材しよう」に参加した小学生が新聞記者となり、伊豆急行の特別列車に乗って様々な取材を体験。伊豆の海の魅力を多くの人に発信する仕事に挑戦しました。

日本財団「海と日本PROJECT」×「いこーよ」

海は、さまざまな文化で日本人の暮らしを支え、ときに安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれます。しかし今、海の環境は悪化し深刻な状況にあります。子どもたちをはじめ、日本人の一人ひとりが「自分ごと」としてとらえ、身の置かざるを得ない状況にアクションを起こさなければなりません。「海と日本PROJECT」は、日本財団、社会福祉政策本部、国土交通省が中心となり、オールジャパンで推進する活動です。

「いこーよ」は「海と日本PROJECT」の一環として、海とともに生きること、環境を守ること、そして海からいただく恵みについて、たくさんの方々が学びや気づきを得た子ども向けの体験企画を実施しています。海での体験イベントを網羅した情報サイト「海にいこーよ」はこちら
https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp

こども記者イベント

■ 車内掲載

伊豆急行内に子ども達の新聞を元にしたポスターを掲載頂きました。



■ 駅構内への掲載

伊豆急行の伊豆高原駅、下田駅の2駅にて朝日小学生新聞を掲載頂きました。



こども記者イベント

■ イベントレポート

<https://iko-yo.net/articles/4862>

■ イベント動画

<https://youtu.be/3il89qPqUnU>

※イベントレポート、イベント動画は海にいこーよへも連携しております。

海にいこーよトップページ

https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp

いこーよ主催！海イベントを体験したよ！
REPORT



すべてが貴重な体験！ 伊豆で貸し切り電車&海遊び&新聞記者も
日本財団「海と日本プロジェクト」と「いこーよ」の共催イベント「こども
新聞記者に挑戦！ 特別列車に乗って伊豆の海取材しよう」が、2019年…
📅 2019年8月19日



初めての海を親子で満喫！ プロが砂浜&海水浴の楽しみ方を伝授
千葉県館山市にある北条海岸で、日本財団「海と日本PROJECT」×いこーよ
主催の「親子の海デビューを応援！ライフセーバーに教わる海水浴体験！…
📅 2019年8月1日

海のお仕事体験を動画で紹介！
MOVIE



【海にいこーよ】こども新聞記者に挑戦！…



【海のお仕事図鑑プロジェクト】～2019…

この夏、未来を担う子どもたちが
14種の海のお仕事に挑戦しました